

ひらか 連携ニュース

今年度も、在宅療養患者のQOL向上と看看連携の強化を図るため、第3回目の看看連携交流会を開催いたしました。今回は、日頃の在宅療養支援において大切にしている想いやケア、成功体験等を語り合い、自分の看護を振り返るとともに、専門職としてのモチベーションを高め、質の高いケアの実践へつなげることを目的に企画しました。

第3回 看看連携交流会を開催しました！

日時：令和1年8月30日（金）17：30～19：00
 場所：平鹿総合病院 講堂
 テーマ：患者さんが自分らしく地域でくらすために
 ～語り合おう！私が在宅療養支援で大切にしている看護～
 対象：横手市内の訪問看護ステーション、
 介護福祉施設に従事する看護師、
 平鹿総合病院看護師
 参加者数：院外 8名 院内 30名 計38名



プログラム

1. 当院の退院支援の紹介
 「自分らしく過ごしたい場所で暮らすために!!
 ～安心をつなぐ退院支援～」
 平鹿総合病院 入退院支援センター
 退院支援専従看護師 佐藤 泰子
2. ワールド・カフェ
 テーマ「私が在宅療養支援で大切にしている看護」



今回は、当院の退院支援専従看護師より、がん終末期にある独居患者さんの事例を紹介していただきました。不可能と思われた自宅療養が親族の協力と地域の多職種の支援により可能となり、最期は本人が望むご自宅で看取りを受けたという報告でした。交流会には、実際にケアを担当した訪問看護師が出席しており、退院後の療養の様子や支援の状況を直接伺うことができ、訪問看護師の役割の大きさと看看連携の重要性を改めて実感しました。

ワールドカフェでは、在宅療養支援について当院の看護師と在宅側の訪問・施設看護師が自由に語り合い、「自分の想いを整理できた」「楽しかった」「リフレッシュできた」等の感想をいただきました。

ワールド・カフェを終えた今のキモチ

- ♥ 本人・家族の思いを大切に。一緒に笑いあえる時間を少しでも多く！
- ♥ 思いを伝えてもらった時に、その真意に気づく自分でありたい。
- ♥ 「家に帰ってよかった」を目指して支援していきたい。
- ♥ 悩んでも困っても、その方と一緒に歩いていく。離れない。
- ♥ 一人じゃできなくても、みんなとならできることがある。あきらめない！
- ♥ 地域のサポート力の強さに感心しました。

